

「S.E.N.S 養成カリキュラム（2012 年度版）」シラバス

C. 指 導

◇「計算する・推論する」の指導（3時間：1P）

【 概 要 】

算数・数学の学習の困難について、わが国の LD、ADHD、高機能自閉症・アスペルガー症候群等の「発達障害」にみられる「計算する・推論する」の困難の具体像について述べる。「計算する・推論する」のアセスメント方法、つまずきの原因、原因に応じた支援方法、指導教材と支援の実際について、事例をあげながら具体的に説明する。

【 キーワード 】

数概念、量概念、数と計算、量と測定、図形、数量関係、文章題

【 到達目標と評価 】

- ①「計算する・推論する」の発達とその困難について基本的な説明ができる。
- ②「計算する・推論する」のアセスメント方法を具体的に挙げるができる。
- ③「計算する・推論する」のつまずきの具体像とその原因について説明することができる。
- ④つまずきの特性に応じた指導プログラムの必要性がわかり、つまずきの原因と指導の方法・内容を関連づけて述べるができる。